

第1学年2組 保健体育科学習指導案

研究主題

各教科等におけるICTを活用した「わかる授業」の創造
～生徒同士が主体的・協働的な学習を通して理解を深める指導法を探って～

研究仮説

各教科等の学習指導において、授業のねらいに即したICTの活用をすれば、生徒が主体的・協働的に学習を進め、「わかる授業」が効果的に実現できるであろう。

1 単元名 武道『柔道』

2 単元設定の理由

- 中学校の学習指導要領では、F「武道」の第1学年及び2学年について、武道は武技・武術から発生した我が国固有の文化であり、相手の動きに応じて、基本動作や基本となる技を身に付け、相手を攻撃したり相手の技を防御したりすることによって勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わうことのできる運動であると示されている。

柔道において、技能では相手と直接組み合って、攻防を展開しながら互いに「一本」を目指して勝敗を競い合う楽しさを味わうことのできる運動である。また、態度では相手と直接的に攻防するため、作法や所作を守り、相手を尊重する気持ちを込めて行うことが大切となる。さらに、知識・思考・判断では勝敗を競い合う中でも、技能習得を通して礼法を身に付けるなどの人間形成を重視するといった考え方を理解するとともに、技の名称や技能的ポイントを見付けたり、それを仲間に説明したりする学習活動を仕組むことができる。よって、本単元を行うことは、仲間と関わり合いながら運動に親しむことができ、生涯にわたる豊かなスポーツライフにつなげるために大変意義深いことである。

- 本学級の生徒は、男子18名、女子15名の33名である。事前アンケートでは、①体育は好きですかの質問に対して、「好き」、「やや好き」と回答した生徒が93%で体育への関心が高く、体を動かすことが好きな生徒多い。また、②柔道は好きですかの質問に対しては、「好き」、「やや好き」と回答した生徒が66%であった。柔道を経験したことのある生徒は5人在籍しているが、その全員が幼稚園での柔道教室で経験した程度である。初めて出会う運動である柔道ではあるがテレビなどで見たことがあり、関心のある生徒が多い。しかしその反面、「痛い、怖い、人を投げて怪我をさせてしまうのではないか。」などの不安を抱えている生徒がアンケートで多く見受けられた。普段の授業では大きな声で体操の号令をかけるなど意欲的な生徒が多く、明るく楽しい雰囲気を取り組む姿勢が見られる。

以上のことから、柔道を含む武道を初めて学習する生徒が多いことや運動は好きだが運動が苦手な生徒への手立てが必要であるため、本単元では、生徒の不安感や恐怖感を和らげるために、受け身の技能定着の徹底や、身長や体重などの身体的な状況を考慮したグループ編成を行い、生徒

の恐怖心や不安などを和らげる等の配慮をしながら授業を行い、安全に学習を進める。そして、基本動作と基本となる技を確実に身に付けた後に、相手の動きの変化に対応した攻防を容易にすることができるように、簡易試合を行うようにする。

- 柔道は、ほとんどの生徒が中学校に入学して初めて触れる運動である。指導にあたっては、柔道の特性である礼儀作法を身に付けさせ、学校生活をする上で必要なマナーや精神など社会貢献を目指した豊かな心を育てたい。また安全面や技を覚えるにあたり、受け身や基本動作をしっかり身に付けさせ、合理的に相手を投げたり抑えたりする柔道の楽しさやよさを味わわせることをねらいとする。このような点から、1年次は受け身を確実に習得させ、固め技の簡易試合を行うこととする。固め技の習得場面においては、ICT機器（タブレット）を活用し、グループの映像を見返すことや他グループと比較することで、効果的に課題や改善点を発見させ、仲間との話し合う活動を通して、思考力・判断力・表現力を高めていく。

3 単元の目標

運動や健康・安全への関心・意欲・態度	○柔道に興味・関心をもち、伝統的な行動の仕方を守ろうとする。 ○受け身の大切さを知り、安全に留意して練習や試合をしようとする。 ○互いに相手を尊重し、公正な態度で一生懸命練習に取り組もうとする。
運動や健康・安全についての思考・判断	○固め技の基本的な動作を理解し、抑え方や逃げ方を工夫することができる。 ○仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見つけることができる。
運動の技能	○伝統的な行動の仕方に留意しながら、基本動作を正しく身に付けるとともに基礎的な対人技能を習得することができる。 ○受け身の技能を理解し、それぞれの受け身ができる。 ○固め技の抑え方や逃げ方を身に付け、相手との攻防で試すことができる。
運動や健康・安全についての知識・理解	○柔道の歴史や基本動作、技の名称や行い方について理解することができる。 ○相手の人格の尊重や、礼儀作法を理解することができる。

4 指導計画と評価計画（総時数7時間）

主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点	評価規準及び評価方法
1、オリエンテーション① (1) 約束（礼法、安全、授業のきまり）の確認をする。 (2) 柔道着の着方、たたみ方の確認をする。 (3) 礼法について理解する。	○柔道の特性や学習の進め方を知らせ学習の見通しを明確にもてるようにする。 ○正しい礼法を理解させるために、礼法の目的、意義について説明する。	【関】柔道に関心をもち、決まりや安全面について確認をしようとしている。 (行動観察) 【知】柔道着の扱い方や礼法を理解することができる。 (行動観察)
2、受け身の練習②	○安全に身を処すために、崩し	【技】受け身の基本を身に付け

<p>(1) 横受け身 (2) 前回り受け身</p> <p>3、抑え技の基本動作を中心に 行う。②【本時1／2】</p> <p>(1) 袈裟固め (2) 横四方固め</p>	<p>と関連づけて指導を行う。</p> <p>○安全面に注意して行うために、頭を守るなどの対処法を説明する。</p> <p>○難易度の低い技から行うことで、固め技の習得を容易にさせる。</p> <p>○抑え込みの条件を理解させ、グループごとに、確認しながらポイントに気付かせる。</p> <p>◎タブレットの映像を活用し、生徒が自ら課題を見つけ、考え、互いに教えあえるようにする。</p> <p>○合理的な抑え方を身につけさせることで、自然と既成技に近くなることを理解させる。</p>	<p>ることができる。(行動観察)</p> <p>【知】安全確保の心得などについて理解することができる。 (行動観察、発言分析)</p> <p>【思】教え合う活動を通して、課題を見つけることができる。 (行動観察、発言分析、 振り返りシート記入内容)</p> <p>【関】安全に留意して自ら進んで練習に取り組んでいる。 (行動観察、発言分析)</p> <p>【技】固め技の方法を身に付けることができる。 (行動観察)</p> <p>【思】仲間への的確なアドバイスをすることができる。 (発言分析)</p>
<p>4、固め技の試合・学習の振り返りと評価②</p> <p>(1) 背中合わせから抑え技の簡易試合</p> <p>(2) 受け身のテスト</p> <p>・横受け身(左右)</p> <p>・前回り受け身(左右)</p> <p>(3) 振り返りシートを記入</p>	<p>○試合に均等性を持たせるために、体格差、体力差を十分に考慮して2人1組を組ませる。</p> <p>○実技テストを行うことで、今まで学習してきたことを再確認させる。</p>	<p>【技】習得した技を生かして、試合をすることができる。 (行動観察)</p> <p>【知】それぞれの受け身の行い方を理解することができる。 (行動観察)</p>

○ 本時においてICTを活用する場面

	活用場面・ICT	活用方法・ポイント	期待される生徒の姿
1	全体で袈裟固めの方法を知る場面、分析する視点を理解する場面 〈タブレット・テレビ〉	タブレットを活用し、テレビに画像を提示しマーキングして説明する。	視覚的にとらえることによってより効果的に理解をすることができる。
2	自グループ全員の袈裟固めを撮影する場面 〈タブレット〉	撮影した動画をグループで振り返り、良い点、課題点を視覚的にとらえることで、観察する。	動画を通して、自身や仲間の課題を掴もうと思考し、理解が深まる。気づいたポイントをわかりやすく伝えることができる。
3	生徒が撮影した動画の中から参考になるものを全体に提示をし、ポイントの理解を深める場面〈タブレット・テレビ〉	グループ別で撮影された動画の中より参考になる動画を教師用フォルダーに送信させ、テレビに提示し、共有することでポイントを明確にする。	参考動画を見て自身との比較ができ、グループ内で指摘、思考する中でより明確にポイントを理解することができる。

- (1) 日時 平成30年11月16日(金) 第5校時 於 武道場
- (2) 主眼 ・ 対人技能(固め技)の基本を把握し、効率よく相手を抑えられるポイントを見つけることができるようにする。
- (3) 準備 ・ 柔道着(33) ・ タイマー(1) ・ テレビ(1) ・ タブレット(9)
- (4) 展開

	主な学習活動・内容	○指導・支援上の留意点【観点】評価規準(評価方法)
導 入	<p>1、集合・挨拶</p> <p>(1) 8列縦隊で集合する。</p> <p>(2) 保健体育委員が出欠、見学の報告をする。</p> <p>2、準備運動・補強運動・受け身の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで準備運動を行う。 ・横受け身 ・補強運動(前転・匍匐前進・仰向け前進・前回り受け身) <p>3、本時の練習</p> <p>本時の学習のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて：相手から逃げられない抑え込み(袈裟固め)のポイントを見つけよう。</p> </div>	<p>○指導・支援上の留意点【観点】評価規準(評価方法)</p> <p>○正座の礼法をしっかりさせる。</p> <p>○安全に留意するために健康状態を観察する。</p> <p>○見学者の指導を行い、授業に参加できる活動を伝える。</p> <p>○準備運動のポイントを押さえて行えるように指導する。</p> <p>○各種の受け身を正確に行うことができるように、受け身のポイントを確認する。</p>
展 開	<p>(1) 袈裟固めの方法及び逃げ方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞き、抑え方、逃げ方を学び、グループで役割分担(受け役、取り役、撮影役、審判)を決め、実際に袈裟固めで抑えた状態から簡易試合を行う。 ・撮影した映像を分析する視点を知る。 ※4グループずつ全員行う。 ※1本10秒。 <p>(2) 撮影した動画をグループで振り返り、</p>	<p>○抑え方や逃げ方について、技の習得を促したり、課題や改善点に気づくことができるようにさせる。</p> <p>※抑え込みの条件を提示する。</p> <p>(抑え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の腕を脇で挟む ・バランスを保つ <p>(逃げ方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力任せに返す・うつ伏せになる ・足を絡める <p>○生徒が<u>観るポイント</u>を明確に提示し、その後グループ内で課題を見つけ、思考し、互いに教えあえるようにする。</p> <p style="text-align: right;">★活用場面1</p> <p>○生徒が提示した視点に注目し、グループ</p>

	<p>良い点や課題を見つける。</p> <p>(3) 撮影した動画で参考になるグループの動画を全体に提示し、理解を深める。</p> <p>(4) 袈裟固めで抑えた状態から簡易試合を行う。</p> <p>※4グループずつ全員行う。</p> <p>※1本10秒</p>	<p>内で課題を見つけ、思考し、互いに教えあえるようにする。 ★活用場面2</p> <p>○自グループの動画と比較することで、より明確にポイントを理解することができるようにする。 ★活用場面3</p> <p>【思】効率よく抑え込むポイントを見つけることができる。</p> <p>(発言分析、振り返りカード)</p> <p>○周囲を確認し、安全に気を付けるようにさせる。</p>
<p>終末</p>	<p>4、集合・挨拶</p> <p>(1) 整理体操を行う。</p> <p>(2) 本時のまとめ</p> <div data-bbox="306 786 1417 1043" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">まとめ：袈裟固めで相手から逃げられないためのポイントは</p> <p style="text-align: center;">①相手の腕を脇でしっかり挟む</p> <p style="text-align: center;">②相手の胸を中心に体重をかける</p> <p style="text-align: center;">③相手に密着する</p> <p style="text-align: center;">④足を曲げた状態で、そろえない</p> </div> <p>・見つけたポイントを発表する。</p> <p>(3) 振り返りシート配布する。</p> <p>(4) ケガをした生徒がいないか確認する。</p> <p>(5) 次回の説明</p>	

御指導よろしく申し上げます。